

大型データセンター誘致可能性調査業務（フェーズ１）委託仕様書

1 業務名

大型データセンター誘致可能性調査業務（フェーズ１）

2 業務の目的

近年、生成A I の普及やデジタル化の進展に伴い、国内外において大規模データセンターの需要が急速に拡大している。

一方、本地域は原子力発電所が集積し、大規模かつ安定的な電力供給が可能であるとともに、脱炭素電源を活用した新たな産業立地のポテンシャルを有している。

本業務は、大型データセンター誘致可能性調査の第１フェーズとして、想定されるデータセンター需要規模および立地要件の整理、立地候補地の抽出および比較評価ならびに電力インフラおよび通信インフラ等の追加整備の必要性の整理を実施し、データセンターの整備または運営に係る知見を活用し、本地域における大型データセンター誘致の実現可能性を検討するとともに、今後実施する事業化検討等の基礎資料を作成することを目的とする。

3 履行期間

契約締結日から令和９年３月２６日まで

4 業務内容

（１）需要規模および立地要件の整理、候補地の抽出および比較評価

需要規模別（100MW 級、300MW 級、500MW 級、1GW 級を基本）に立地要件を整理し、段階的に拡張することも想定した上で候補地を抽出し比較評価（候補地ごとに総合評価を行い、優先順位を整理）すること

【評価項目】

①土地

- ・面積
- ・地形、地質
- ・土地取得容易性
- ・造成難易度
- ・開発期間
- ・拡張余地

②防災

- ・津波
- ・洪水
- ・土砂災害
- ・地震

③都市計画

- ・用途地域
- ・開発規制
- ④インフラ
 - ・道路
 - ・港湾
 - ・電力
 - ・原子力由来電力の利用可否
 - ・現状での利用可能な電力容量
 - ・将来的に利用可能な最大の電力容量と利用可能時期
 - ・最寄り変電所、送電線までの距離
 - ・特別高圧受電可能性
 - ・系統増強の必要性
 - ・必要投資額
 - ・整備期間
 - ・通信
 - ・利用可能な通信サービスの種別
 - ・最大利用可能な通信帯域
 - ・東京または大阪のIXへ接続する場合の帯域と遅延
 - ・水資源
 - ・上水道
 - ・工業用水
 - ・河川水、海水冷却水
 - ・水利権
 - ・排水処理

(2) 候補地別事業化課題の整理

候補地評価結果を踏まえ、候補地ごとにデータセンター立地実現に向けた主要課題および追加検討事項を整理すること

候補地ごとの事業化課題の整理に当たっては、データセンター運用開始後を想定し、必要となる電力、通信その他インフラの追加整備の必要性、またその概要についても整理すること

【整理項目】

- ①電力供給に関する現状と課題
- ②通信インフラに関する現状と課題
- ③用水・排水に関する現状と課題
- ④想定需要規模ごとの課題

⑤事業化に向けた確認事項および調整先

⑥今後検討すべき事項

(3) 留意事項

受託者は、本業務が大型データセンター誘致可能性調査の第1フェーズとして実施されることを踏まえ、後続の事業化検討等に活用できるよう、評価過程、評価根拠および主要課題について整理するものとする。

5 成果品

以下のものを提出すること

①調査報告書（紙媒体1部および電子データ）

調査報告書には次のものを含めること

- ・ 需要規模別整備条件一覧
- ・ 候補地評価一覧（評価項目、評価基準、採点結果、評価理由を整理）
- ・ 候補地比較マップ
- ・ 候補地別事業化課題（論点）整理表（確認事項、調整先を含む）

②調査報告書の概要版（電子データ）